



かえでゆうびん 5月号

2025年5月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

最近、寒暖差が大きくなかなか体調管理が難しいですが、新入园児の子どもたちは新しい生活リズムにも少しずつ慣れ、進級された子どもたちはそれぞれのクラスのシステムに馴染んできました。子どもたちの順応性のたかさに遅しさを感じています。先日の保護者会では1年の過ごし方や大切にしたいことをお伝えし、その後に園庭でお子様との時間を作りました。1部ではお子様とともに体を動かしたり、保護者同士の集いを中心に進めました。2部の「泥団子づくり」ではお子様はもちろん保護者の方々の童心に返られた様子にもう少し時間があればピカピカの泥団子が出来上がったかも…といつもの子どもたちの様子と同じくらい真剣に向き合うお父さん・お母さんの様子がほほえましく嬉しく思えました。またいつでも泥団子づくりに挑戦しにいらしてください。

かえでの生活は自ら見つけたことに時間をかけてじっくり取り組み、その中でも失敗もありますが繰り返しやってみることでお友達に頑張りを認められたりしながら、自分らしさを出して過ごす毎日を大切にしています。これから1年、自分の思う事ややりたいことに力を出せる環境づくりをしていき、たくさんのエピソードをお伝えしていきたいと思います。また、お子様と向き合い、出てきた案件は職員間で話し合いや申し送りを密にし、意見交換しながら教育・保育を進めていきます。こんな風にしてみたら?など思う環境があればいつでもご意見お待ちしております。今月号より各クラスの子どもの様子を中心にクラスだよりが掲載されます。お願い事もクラスごとにお伝えしていますので見逃さないよう「かえでゆうびん」を読んでください。

保護者の方々のトークコーナーや厨房からのおすすめメニューも充実させています。この「かえでゆうびん」が様々なかえで保育園での生活の場面をお伝えするツールになり楽しいゆうびんとなるよう構成していきます。お楽しみに!

園長 引地 美津代

さくらの季節が過ぎ、園庭には色とりどりの花が風に揺れて心地良さそうに並んでいます。

たんぽぽの綿毛を見つけた子どもたちはまるで宝物を見つけたかのように、目を輝かせています。

さて、子どもたちも保護者の方も、街中がなんだかさわさわしている4月が過ぎましたが、子どもたちはそれぞれの場所で自分の居場所を見つけ、世界を広げています。『慣らし保育』という言葉、『すこしずつウィーク』のようなネーミングでもいいのでは?と思うくらい、子どもたちにとって初めての環境に飛び込むことは大きな第一歩だと感じています。お仕事の復帰やご家庭の事情などある中で、お子様に歩幅を合わせて時間を設けていただけたこと、本当に大切な時間であったと改めて思います。毎日少しずつではありますが、お子様の新たな一面を保育園で見せてくれるようになり、その度に保護者の方々と喜び合えることが嬉しいです。

ある日のこと、お昼寝から起きたひかり組のMくんが、眉毛をへの字にしてふたばの部屋へとやってきました。「どうしたの?」と声をかけるとほろほろと涙を流し、同時に心の中にあった想いが言葉となって次々と溢れ出しました。「あのね、〇〇くんがね、行っちゃった…」話を聞いてみると、ペアのだいちさんが、いぶきさんと2人でおやつに行ってしまったとのことでした。

どうやらMくんはペアのだいちさんに手を繋いで欲しかったようです。ついこの間まで幼児クラスの1番末っ子で沢山お手伝いしてもらっていたひかりさん、進級して新しくいぶきさんという年下の存在ができたことで、葛藤しているようでした。

その後一緒にだいちさんの元へ向かい、自分の言葉で気持ちを伝えたMくんは、涙をぬぐって自らおやつへと向かいました。

子どもたちがそれぞれの場所ではじめての感情に出会い、日々心を育てていることを改めて感じた出来事でした。一人ひとりの心に芽生えた想いを、大切に見守り一緒に育てていきたいと思っています。

主幹保育教諭 K

めばえ

初めての保育園生活に、戸惑い、緊張している子どもたちでしたが、保育者と一緒に食事やミルク、着替え、排泄を繰り返す中で、少しずつ子どもたちの気持ちも落ち着き、笑顔が増えていくことを嬉しく感じます。子ども達にとって保育園生活は毎日が始めての発見で溢れています。砂、泥、植物、絵の具など様々なものに触れて、肌で感じ、たくさんの刺激を感じながら過ごしています。ちいさな興味や気づきを保育者や友だちとたくさん見つけながらどのように遊びが広がり、どんな表情を見ることができるか楽しみです。



なにかな？



はい、どうぞ



おいしいね



ザラザラするなあ



ふたば

7人の新入園児が加わり15人での生活になったふたば組。新しい部屋や保育者に初めは慣れずドキドキしている様子でしたが、にっこり笑顔になったり時には泣いたり怒ったり…様々な感情を伝えてくれる姿が増えてきました。めばえ組から進級した子は新入園児にも関心を抱いており、泣いているとよしよしたり、顔を覗き込んで玩具を渡そうとしたり…これからどのように関わりが広がるのか楽しみです。そして安心して過ごせられるように、一人一人と丁寧に関わっていきたくです。園庭では春の生き物（チョウチョやダンゴムシなど）を見つけてじっと観察したり、草花を手に取り砂場でまごごとをしたり、お花に水をあげて眺めたり…外での遊びも充実してきました。また、園の外を走るゴミ収集車に興奮したり、ヘリコプターの音が聞こえると「どこ？」と空を見上げ手を振ったり、子どもたちの興味や関心が様々な場面で溢れています。好きなことを存分に楽しめるように遊びの環境を整え、温かい雰囲気の中で見守っていきながら、私たち保育者も一緒に楽しんでいきたいです。

※全ての持ち物（衣服、タオル、靴等）に名前の記入をお願いします。消えかかっているものもありますので、改めて確認してください。これから外遊びが中心となります。ロッカーの着替えに半袖のご用意もお願いします。



だんごむしおった



先生、見ててね
上手にすべるよ



優しいお兄ちゃんとお姉ちゃん
一緒にいると安心するね



しょうぼうしゃ



泣いている子によしよし



つぼみ

園庭に咲いていた桜が新緑の若葉に変わり、すがすがしさを感じる季節になりました。子どもたちが楽しみにしていたうんどうあそびでは、体操服を着て「いっしょだね」とかえでマークを保育者や友だちと見せ合う微笑ましい姿が見られました。体操をして鉄棒や平均台など身体を思い切り動かし、「たのしいね」と嬉しそうでした。園庭ではしっぽとりを楽しんでいます。保育者にしっぽをとられないように、逃げたり隠れてみたり、「なんだか楽しそう！」とつぼみ組の子どもたちだけでなくお兄さんお姉さんも一緒に遊んで輪が広がっていきました。保育者が仲介をする中で、簡単なルールのある遊びをして“友だちや保育者と遊ぶことって楽しい・心地良い”と感じてほしいと思っています。そして遊びの中で思い通りにいかない葛藤や想いを保育者が代弁したり一緒に伝えることで、“他者との関わり方”を知る経験を増やしていきたいです。

たのしいね



友だちの名前を呼びながらボールを渡しています。



平均台や鉄棒など、思い切り身体を動かします。



年上のお姉さんにしっぽ取りのしっぽを付けてもらい、なんだか嬉しそう。

マスカット体操や、ミックスジュース体操をして音楽に合わせて身体を動かす楽しさを感じています。

いぶき

子どもたちは幼児の部屋で過ごす事に毎日ワクワクでいっぱいです。「きょうはぱんやさんするんだ」「ジュースやさんになる」等子どもたちはままごとやお店屋さんごっこで大忙し。気持ちが友だちにうまく伝わらずトラブルになることもあります。保育者が子どもたちの気持ちを受け止め、時には代弁しながら「友だち」との関わりを見守っていきます。園庭に咲く花が増え、園外の草花にも出会いを広げようといぶきで東三公園へ出かけました。友だちと手を繋ぎ歩くことを喜び、公園に咲く綺麗な花を友だちと見つめて楽しんでいました。これからも自らの足で色々な場所へ向かえる楽しさを味わってほしいと思います。

きれいなおはな！



さくらだよ



いいおと♪



おさんぽたのしいね



ひかり



いろが変わった!



とうもろこしで
ポップコーンづくりだ!



新年度がスタートして早くも1か月が経ちました。子どもたちはひかり組になり、1つ学年が上がったことにワクワクしながら過ごしています。
「ひかりタイム」では、子どもたちが輪になり、お互いの顔を見ながら話し合う時間を設けています。様々な話を日々話し合うことで、他児の話を聞く・受け止める。そして自分の想いを伝える場所になっています。昼食後には、絵本室でゆったりと過ごす時間に、たまご型のライトを使い“たまごタイム”も始まりました。色が移りゆく変化をじっと見つめながら、いつもの部屋の明るさとは違う環境で過ごすことで気持ちが和らいだり、自分の気持ちを振り替えられるような空間になりました。春にどんな野菜を育てるのか話し合った際に、Mくんが「とうもろこしでポップコーンをつくりたい」と話していました。Mくんの意見を聞くと、みんな目を輝かせ、「やってみよう」と大喜び。ポップコーンの他にも、とうもろこしのおにぎりやコーンスープなど様々な作ってみたい料理のアイデアが湧き出てきました。これからとうもろこしの栽培を通じて、育てることの楽しさ私をも一緒に感じていきます。
※爪が伸びているお子さまが多くみられます。怪我にも繋がりますので、必ず整えてから登園してください。足の爪も点検してください。



だいち



困ったときはどうしたらいいか
子どもたちで考えています



一緒に跳んでみよう

憧れていただいち組での生活が始まりました。子どもたちのやってみようがたくさん溢れています。去年のだいち組から受け継いだ当番活動は3人1グループで「ご飯準備隊」「生きもの隊」「絵本室隊」「おやつ片付け隊」「ご飯片付け隊」「もりぴーいっちゃん隊」6つに分かれて活動しています。当番を忘れていたり、時間が過ぎてしまうこともあります。「もうちょっとで時間じゃない?」と子どもたち同士で声を掛け合ったり、助けあう経験にも繋がっています。食事のあとに『だいち会議』と名付けて、バス遠足でのお出かけ先やこれからやってみようことを話し合う機会を設けています。自分の気持ちを言葉にして話す経験や、友だちの話を聞いて思いを汲み取る経験になればと思います。最近のテーマは『運動はっぴょうかい』でみんなにみてほしいことを話し合っています。「できるようになったことをみてもらいたい」「かえで保育園での運動はっぴょうかい最後だね」とそれぞれの思いを言葉にしながら、やってみようことを子ども達と一緒に工夫して考えながら進められるよう関わっています。

野球の打つ、投げる、
審判を交代でしています。



だいち会議の様子



おうち綺麗にするね

園庭には色とりどりの花が咲き過ぎしやすい気候が続いています。4月16日初めてのかえでカフェを行いました。7人の方と色々な世間話を楽しみながら「酒粕を使った調味料作りと基本の出汁」を作りました。参加の方の中には、数年前保育参加の時にかえで保育園で食べた汁物が美味しくて、出汁の取り方を栄養士から教えてもらい、「わが家の味」としてずっと継続されたという話もありました。

今年度は「かえでで取り組む食育」についてお伝えしていきます。5月は園で使用しているカトラリーを紹介します。かえで保育園では育ちに合わせてカトラリーを使い分けています。手づかみから道具を使っていく過程でカトラリーが持ちやすいと食べやすいにつながります。(年齢は目安です)



1 2 3 4 5 6・7 8・9 7 8 9

1 2 3 4 5・6 7・8 9・10

1～4 1本は離乳食の介助スプーン *離乳食の段階やお子さまの口の大きさにより使い分けています

5 なみなみスプーン *初めてのスプーン0・1歳児のお子さま

6・7 持ち手がブックリとしているスプーンとフォーク *0～2歳児が使用

8・9 持ち手は平になっています *2～5歳児が使用

1～4 箸 *幼児用と大人用(赤) 5・6 持ち手は平になっています *2～5歳児が使用 ※同じ

7・8 5歳児用(カレーや麺類の時に使用) 9・10 大人用

主幹保育教諭 F

お台所より

春の食べ物の美味しい季節がきましたね。先日保護者の方からたくさんのたけのこを頂きました。硬くてしっかりした皮を一枚一枚、丁寧に一生懸命剥いてくれました。匂いを嗅いだり、絵を描いたり、旬の食材に触れる機会を今後もたくさん作っていきたいと思います。5月の献立には「たけのこごはん」を食べる予定にしており、前日に子どもたちと一緒にたけのこを煮たいと思っています。



～おうちでクッキング～

今回は子どもたちにも人気のミネラルふりかけを紹介します。

材料に使われているいりこは、現代人に不足しがちなカルシウムや必須ミネラルが豊富に含まれています。簡単に作れるのでおうちで作ってみませんか。

○材料

- ・いりこ 30g
- ・青のり 小さじ1
- ・白ゴマ 大さじ1.5
- ・酢 小さじ1/2
- ・醤油 小さじ1
- ・塩 少々

○作り方

- ・全ての材料をフードプロセッサー(またはミキサー)に入れて細かく砕く。



行事予定

1日(木) だいち園外保育(甲山)
13日(火) 誕生会
17日(土) ダンディタイム15:00~
19日(月) 月例健診
20日(火) 避難訓練(不審者)
23日(金) うんどうはっぴょうかい
絵画 9日(金) 28日(水)
体操 8・15・22・29日(木) 1日はお休みです
15日(木) 職員園内研修
土曜保育 お弁当日5月24日
6月21日は同園会のため家庭保育にご協力お願い
します

保護者メッセージ

娘は水遊びが大好きで、冬でも保育園の庭の水道の蛇口を開けに行き。先生に止められる。手を洗っていると思いきや、水遊び。お迎えに行くと袖が濡れていることも多々。家でもキッチンでお手伝いという名の水遊び。これから娘にとって最高の季節がやってきます。思い存分水遊びを楽しんでほしいなと思います。
つぼみ組 かえさん

ひかりさんになれるかが大問題だった息子。無事ひかりさんになって、ひかりさんだから！が口癖になっています。ずっとお迎えにいくととんで来てくれていましたが、最近はまだ遊びたかったという日もあり、おにいちゃんになってきました。男の子独特の口の悪さが気になりますが(笑)優しい話し方をするお兄ちゃんになってほしいです。
いぶき組 よしえさん

4月からだいち組になり、ますますお姉さんになってきました。最近では保育園のお仕事を張り切ってやっている姿を見て子どもの成長を感じています。残りの1年間でいっぱい楽しんでいっぱい大きくなってほしいです。
だいち組 ともみさん

健診のお知らせ(詳細は後日書面でお知らせします)

耳鼻科 6月10日(火)

歯科 16日(月)

眼科 24日(火)

尿検査(幼児のみ) 12・13日(木・金)

先生コーナー

皆さんは春といえば何を思い浮かべますか？私が思い浮かべることは桜で、春の一番の楽しみは桜を見に行くことです。幼い頃からずっと西宮に住んでいて、夙川の桜を見に行くことが毎年の楽しみになっています。桜が咲くと、春の訪れと同時に出会いと別れの季節だなあとしみじみ感じます。又、5月になる夙川の下流でこいのぼりが元気に泳いでいます。こいのぼりを見ることも好きで、昔からよく家族で見に行っていました。保育園でもこいのぼりを出すと、子ども達が目を輝かせて喜んでくれました。風で回る風車に夢中になる子どももいれば「こいのぼり」の歌を友達と歌っている子どももいました。その姿を見ていると穏やかな日々だなあと同時に、これからも穏やかな生活が続いて欲しいと思います。日々の何気ない幸せな時間をこれからも大事にしながら、子どもと楽しく過ごしていきたいです。

保育教諭 K城

家では「抱っこして」「ママとねんねする」とまだまだ甘えん坊な我が子ですが、進級して幼児さんの仲間入りした途端に「1人で2階にカバン取りに行くわ」「お兄さんになったからこれできるねん」と憧れの幼児さんになれる喜びを感じていました。

いぶき組 まなみさん

お迎えの際につぼみ組の子のお世話をしている姿が見られ、成長を感じました。家に帰ってそのことを話しながら娘がつぼみ組の時のお姉さんみたいだったと伝えるととても嬉しそうに笑っていました。

ひかり組 ゆうほさん